

国立天文台客員教授等報告書

受入教員 プロジェクト名： チリ観測所 氏名： 長谷川哲夫
客員氏名： 小麥 真也
称号： 客員教授 客員准教授 客員研究員 (○をつける)
期間： 平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日

I. 以下の項目について、客員教授等本人が記入してください。

[1] 主な活動と成果 (当初の計画についても記入すること)

(共同研究)

近傍銀河に関する研究をチリ観測所メンバーと展開することが研究計画の一部であるが、2015年度はチリ観測所に在籍する大学院生、研究員とともに近傍銀河、とりわけ銀河衝突の痕跡あるいは前兆がある高光度赤外線銀河の性質について ALMA や野辺山 45m 鏡での観測をもとにした研究を推進した。成果については、8月に開催された IAU 総会にて3件の発表につながった。

(教育)

大学と天文台の交流活動の一環として、工学院大学先進工学部の初年次学生を対象とした国立天文台の見学会を開催した。その際、チリ観測所メンバーの大学院生による研究紹介を行い、好評を博した。天文台で研究活動を行いたいとの希望を持つに至った学生が複数確認された。

(その他)

天文天体物理若手の会が主催する夏の学校に招待講師として参加し、アルマ計画及び海外での研究活動に関して講演を行った。

[2] 本制度に対する意見、要望など

なし

[3] 国立天文台職員や大学院生と共同して行った研究等の学会発表、学術論文、解説等

- 1) Saito, T., et al. (Komugi, S. as 9th author), “Diffuse and Dense Gas in Nearby Luminous Merging Galaxies” , ASP Conference Series, 499, 133, 2015
- 2) Yamashita, T., et al. (Komugi, S., as 2nd author), “The Nobeyama 45m CO(J=1-0) Survey of Local Luminous Infrared Galaxies” , IAUGA, 2256489, 2015
- 3) Ueda, J., et al. (Komugi, S., as 6th author), “Investigating nuclear and extended molecular gas disks in the final stages of mergers” , IAUGA 2256394, 2015
- 4) Saito, T., et al. (Komugi, S., as 9th author), “Molecular Gas Excitation and Chemistry in Nearby LIRGs with ALMA” , IAUGA 2254284, 2015
- 5) ALMA Partnership, et al., “The 2014 ALMA Long Baseline Campaign: An Overview” , ApJ, 808, 1, 2015

II. 以下の項目について、受入教員が記入してください。

[4] 本制度に対する意見、要望など

特になし。